

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきいきっ子クラブ国東(児童発達支援事業)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各関係機関等や地域との連携	子ども達が地域でより良い支援を受けられるように、保育所や、保健師等との連携は、常に行ない、会議以外にも情報交換等を行なうようにしている。	保育所等にこちらの支援内容を丁寧に分かりやすく、お伝えすることにより、子ども達が地域でより良い支援を受けられるようにしていく。
2	保護者への研修等の開催	これまでも、ペアレント・プログラムの研修を行ってきたが、保護者向けの研修や交流の場を提供できるようにしている。	これからは、きょうだい児への支援も考慮した保護者会を設けていきたい。
3	それぞれの子どもにあった、療育活動の提供	保育、言語等の多方面から、専門的なアセスメントを行なったうえで、それぞれの子どもに合わせた、療育活動を提供し、振り返りを行なっている。より良い療育活動を提供できるように常に、見直しを図っている。	これまでも実施してきたことではあるが、外部や第三者からのアドバイスをいただきながら、さらにより良い支援を提供できるようにこれからも邁進していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部への発信力	ホームページなどを通じた発信力が弱い。子ども達の支援だけでなく、安全に関することも併せて、保護者や地域に発信していく必要がある。	定期的な発信できるように、年度初めに取り決めを行ない、利用者や保護者の方が安心して利用できるようにしていく。
2	チームでの計画書の立案	チームでの計画書の立案は行っているが、職員の知識量の違いにより、全員の意見交換の難しさも痛感している。	まだ、経験の浅い職員への研修の機会を増やす。発達障がいへの理解・対応など、経験のある職員からの伝達を行なうことで、お互いがステップアップできるように、配慮していく。
3	長期休暇の生活空間の在り方	長期休暇になると、児童発達支援と放課後等デイサービスを一緒に受け入れることになり、日頃、それぞれの確保されていた生活空間のスペースが確保されずに、ご利用児としては本来の自分を保てないことがある。	子ども達がそれぞれ有意義な時間を確保できるように、これまで以上に工夫、配慮する必要がある。スケジュールの事前の確認、安心・安全の確保など丁寧にしていきたい。